

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

第47回関東甲信越静公民館研究大会 第3分科会「ボランティアの育成と支援」

4.5

- 2 トピックス 第57回新潟県公民館大会開催
- 3 視点 「実生の会」の歩みと活動について
- 3 ひろば 癒しの環境づくり
- 6 実践記録シリーズ 自然の中で磨く心と体「小さな冒険学校」
- 7 サークル交流 どの本読もうかな(新潟市) / 美しいハーモニーを求めて(聖籠町)
- 7 素顔拝見 岡田陽子さん(妙高市) / 伊藤 隆さん(阿賀町)



▼モクスガニがとれた



「ウィークエンドキッズ王国」・柏崎市高柳町公民館

表紙解説 学校が休みの週末にいろいろな体験活動をしています。今回は「鱒石川でさかなつり」



第57回新潟県公民館大会開催

「縮」と「錦鯉」の小千谷で

「地域づくり」に公民館がどうかかわるか

去る7月21日(金)、第57回新潟県公民館大会が、「縮」と「錦鯉」の地、小千谷市民会館で開催された。

中越大地震と二年にわたる豪雪を乗り越えての開催であったが、当日はあいにくの雨の中、四百八十余名の参加が得られた。

主管の小千谷市民会館、魚沼市中央公民館、川口町公民館の全面的なご尽力により、内容の濃い充実した大会とすることができた。

金箱貞夫大会実行委員長の



共催あいさつ

開式の言葉、三保恵美子会長の主催者挨拶、武藤克己新潟県教育長(代理高井盛雄教育次長)の共催挨拶に続いて表彰式に移った。

永年勤続表彰者は五名(下欄に掲載)で、三保会長から表彰状と記念品がそれぞれ各人に手渡された。

来賓のご祝辞と地元開催市の歓迎のごあいさつは、新潟県公民館振興市町村長連盟会長で小千谷市長の関広一様より、大震災と豪雪を乗り越えての「小千谷復興計画」策定に至るまで、市民と一体となつて対応された体験からにじみ出た感銘深い内容のお話



大会旗引継ぎ

来賓紹介、視電披露の後、公民館を取り巻く現下の急務の課題について、星雅美大会副実行委員長(代理星正太郎補佐)から大会決議文案が提案され、満場一致で採択された。

その後の基調講演では、「地域に自治と元気を生み出す公民館活動」と題して、元松本市南部公民館長で、元松本市あがたの森公民館長の手塚英男様から、信州の公民館七つの原点、松本の公民館の到達点、学びから育つ地域自治力等(概要は、9月号4・5面に掲載予定)、具体的な事例を交えての基調講演がなされた。

午後のシンポジウムは、コーディネーターの手塚英男様のリードの下、「地域づくりに対する公民館のかかわり方」系魚川市上早川地区公民館平内芳美主宰、「まちおこしグループが集う芽多花の楽校」小千谷市の信濃川テク

ノ・アカデミー谷井靖夫校長、「過去・今・未来沼垂もんの冬まつり」新潟市東地区公民館運営審議会松原明子委員から、それぞれ具体的な実践事例をおして報告がなされた。

数々の質疑と意見交換がなされた後、コーディネーターの手塚様より、まとめと今後の方向づけがなされた。

そして閉会式では、次期開催地、村上市中央公民館竹内友二館長に大会旗が引き継がれ、大会は滞りなく終了した。



表彰式

永年勤続受賞者

氏名	所属公民館並びに役職
1 琴 巻 詩太郎	新潟市西地区公民館 運営審議会委員
2 山 田 ますみ	新潟市中地区公民館 非常勤嘱託
3 藤 田 朝 隆	小千谷市公民館横渡分館 館長
4 三 浦 一 芳	村上市上早川地区公民館 館長
5 小 林 フ ミ	田上市公民館 運営審議会委員

第57回大会決議文

県内の市町村合併も東北地域の動向を含み、いよいよ最終段階となった。併せて、公民館が60年を迎える節目の行政改革や市町村合併に伴う役割の再定義、公民館の発展や運営体制を整える等職員研修のより一層の充実を努めるとともに、自らの力量の向上を図る。また、公民館の発展や運営体制を整える等職員研修のより一層の充実を努めるとともに、自らの力量の向上を図る。また、公民館の発展や運営体制を整える等職員研修のより一層の充実を努めるとともに、自らの力量の向上を図る。

- 公民館関係職員の意識改革と研修のさらなる充実を図る
 - 公民館の設置及び運営に関する基礎の趣旨を踏まえ、自らの職責を強く自覚し、地域住民の要求課題、必要課題を的確に把握し、多様な講座・事業の実施に努める。
 - 公民館の講座・事業等の推進のため、施設・設備の整備を働きかけ、資料の蓄積や研修体制を整える等職員研修のより一層の充実を努めるとともに、自らの力量の向上を図る。
 - 事業評価の改善を図り、またボランティア等の人材をいかして、活力ある公民館の再構築を目指す。
- 都市公連の再編と新しい研修組織の確立定着化により一層努める
 - 旧都市公連の枠を越え、新しい研修組織の編成・確立により、諸研修を一層充実あるものとする。
 - 研修組織・研修内容の充実のため、当該市町村及び公民館と連携を図りながら、研修予算の確保・人的支援体制の充実を努める。
- 新潟県公民館連合会の果たすべき役割を積極的に行う
 - 合併後の新しい地域づくりを進めるために、公民館の必要性を強く訴え、専門的職員の配置を確保するよう関係各方面に働きかける。
 - 県公連財政基盤確立のために、各公民館が一層の努力をすと共に、引き続き自主財源確保の方向について検討を進める。また、県市長会、県町村会、県公民館振興市町村長連盟と密接な連携を図りながら、県内外の情報提供・交換、県公連の組織強化及び財政基盤の確立強化に努める。
 - 平成の大会閉会後の新しい県公連役員組織、事業のあり方等について検討する。

平成18年7月21日

第57回新潟県公民館大会

視点

「実生の会」の歩みと活動について

見附市生涯学習プランナー
実生の会 会長

大川戸一紘



平成九年、学んだことをさらに深め実践を重ねていこうと結成し、発足したのが生涯学習プランナー「実生の会」です。私たちは、「豊かさ」をテーマに心・自然・地域の

平成六年度から見附市の重点施策「生涯学習推進プラン」に基づいて、生涯学習ボランティア養成講座が始まりました。自分が取り組んでみたい分野のテーマと、市民のニーズを合わせて講座を開くための企画・立案・運営のノウハウを学ぶことを目的とした講座です。

これからも、情報の収集や地域交流活動を通して、市民に信頼され、必要とされる会になるよう、努力を続けていきたいと思っております。

視点を講座の企画・立案・運営を行う中央公民館の学習ボランティアとして活動しています。当会は今年で結成九年目となり、活動もようやく市民の皆さんに認めていただけるようになりました。会員一同企画講座に益々意欲を持って取り組んでいます。

HOT NEWS

掲示板

平成18年度社団懇総会開催

平成18年7月24日(月)
午後2時～
ウエルシティ新潟
全体進行：鈴木幹事
11団体 27人出席

- 1 開会挨拶 会長 小林美代子 (14:00~14:20)
- 2 日程説明 田中幹事
- 3 来賓紹介 鈴木幹事
- 4 参加者の自己紹介
- 5 協議 進行：反町幹事、説明：田中幹事 (14:20~14:40)
 - * (1)(2)を一括審議、(3)(4)はそれぞれ単独審議
 - (1)平成17年度事業並びに決算報告について
 - (2)監査報告
 - (3)平成18年度役員選任について
 - (4)平成18年度の事業計画並びに予算案について
- 6 来賓ご挨拶並びにご講話 進行：鈴木幹事 (14:40~15:30)
 - ・時間担当：飯平課長様 約25分
 - 高橋所長様 約15分
 - (1)「当面する行政課題について」
新潟県教育庁生涯学習推進課長 飯平喜文様
 - (2)「県立生涯学習推進センターの事業の重点」
県立生涯学習推進センター所長 高橋 守様
- 7 休憩 (15:30~15:40)
- 8 説明と協議(15:40~17:00)進行：反町幹事
 - (1)加盟各団体の重点施策について(重点に絞って説明)
 - (2)行政並びに懇話会加盟各団体の新たな連携を模索する
話題提供・社団法人新潟県社会教育協会
 - (3)意見交換・県、他団体等への要望事項等
- 9 閉会 (17:20)
(全体進行が締めくくり、情報交換会へ誘導)

ひろば

癒しの環境づくり

燕市公民館運営審議会委員 小越ゆみ子

ある本で「笑い療法」を知りました。笑いで患者の自己治癒力を高め、健康な人の発病予防をサポート目的で作られ、病院、福祉施設、学校、普段の生活の場などでまわりの人々を笑わせ、雰囲気明るく、楽しくする人たちに与えられる資格です。そして社会のどこでも身近な所で笑顔を増やすための活動と書かれてあるところに大変ひかれ、このボランティアに係わる事ができたら私自身幸福であると思ひ、「癒しの環境研究会」に入会させて頂きました。私は、まだ何の資格もありませんが、56歳の私の挑戦であります。



「ボランティアの育成と支援」

な活動の場を提供するための公民館事業を行っていますが、その中から活動の成果を生かしたいと、自主的に行動を起こす形が見えてきました。その盛り上がりには弾みをつけ、生涯学習活動における市民と行政との「協働」、また、講座によって得た知識・技術を市民へ「還元」というねらいで、「指導者育成講座」を実施しています。現在、2つの講座を開催し、ボランティアの育成支援を図っています。

(1) 保育ボランティア育成講座

本市では公民館講座を実施する際、臨時保育ルームを設けています。これにより乳幼児を持つ保護者の受講機会が広がるため、非常に好評を得ています。

そこで、保育ボランティアの育成を目的として、本講座を開催し、保育者としての心構えや乳幼児の対処方法を学び、安全・安心で質の高い保育を提供しています。平成14年度から講座を実施、現在21名の方が、ボランティアグループとして活動しています。

(2) パソコンサポーター育成講座

○きっかけ・立ち上げ

平成15年度に新潟県が実施した高齢者講座で、パソコン初心者の指導補助につく「サポーター」の講習を受けたグループから、活動の成果を生かしたいとの申し入れがあり、公民館で実施するパソコン教室で「パソコンサポーター」を試行することになりました。

実際、サポーターを活用してみた結果、「講師だけでは行き届かないところを補助してもらい、助かった」「存在がとても心強かった」と大変好評でした。ただ、中級程度のレベルになると、対応できない部分も出てきたり、一部ではサポーターの存在が少し邪魔になるという意見もあった

りで、パソコンについての知識取得・技術向上と、受講者の立場に立ったサポートが求められることを知りました。

このことから、講座に対するサポーターの必要性がある程度確認できたため、パソコンサポーターを広く市民から募集し、講座という形で開催し、サポーター育成のきっかけづくりにするという話を持ち上がりました。

○現在及び成果

平成16年度から講座を開催、本年度で3年目になりますが、16、17年度の受講者がそれぞれグループを結成、「上越PCサポーターズ」「PS火曜会」として、公民館のパソコン講座にサポーターとして活動するとともに、毎週グループ内で自主研修を実施、技術の向上と情報交換を行っています。

また、本年度から公民館講座でのパソコン教室のメイン講師を務めたり、グループの研修会を利用して、簡単な悩みごとの相談を受ける「パソコンお悩み相談室」を開催するなど、活発な活動を展開しています。

○問題点

- ・講座の内容、進行方法
- ・受講者の立場に立ったサポート方法の模索
- ・メイン講師との連携、コミュニケーション
- ・ボランティア団体への移行
- ・団体の運営、サポーターの補充

○今後の方向性・展開

- ・2団体がサポーター団体として活動中。本年度受講者も団体を設立予定
- ・19年度までに4団体50名のサポーターを育成
- ・本講座を含めた「指導者育成講座」の充実と拡大
- ・各団体の活性化と、活動機会の提供

特集

第47回関東甲信越静公民館研究大会

第3分科会「ボラ」

上越市立公民館

主任 池田 謙治



【上越市の概況】

本市は、新潟県の南西部、日本海に面して位置し、北は柏崎市、南は妙高市、長野県飯山市、東は十日町市、西は糸魚川市に隣接しています。

平成17年1月1日、14市町村が合併、平成18年6月1日現在、人口210,677人、世帯数70,999世帯と、新潟県内では3番目の都市です。

面積では、973.32km²と県内では1番目、全国でも30番目であり、東京23区よりも広い面積です。

四季の変化もはっきりしており、冬期になると、海岸部を除いた地域は全国有数の豪雪地帯となります。

古くは越後国府が置かれたほか、中世は戦国の武将上杉謙信の拠点として、江戸時代には徳川家康の六男、松平忠輝が築いた高田城を中心に城下町文化が繁栄、古くから政治・経済・文化の中心地として栄えてきました。

また、北陸自動車道、上信越自動車道、ほくほく線などの高速交通網が整備され、今後、北陸新幹線などのプロジェクトにより、三大都市圏とほぼ等距離に位置する、交通ネットワークが整った有数の地方都市となります。

【上越市の公民館】

1. 概要

本市の公民館は、全市民を対象として事業を行う15の地区公民館と、各地域の住民を対象にした65の分館があります。

職員は10名体制で、施設の管理運営を行う庶務係と、講座の企画実施を行う事業係で、公民館事業を実施しています。

そのほかに、13区（合併前の13町村）には教育委員会の分室があり、各地区の公民館は分室職員が運営を行っています。現在は公民館・各区分室が連携を図りながら、市全体の公民館事業を展開しているところです。

2. 合併前上越市と新市場

合併による事業の平準化・公平化と、地域の特性を生かした独自事業の展開は相反するものがあります。緩やかな一体感の醸成を図るとともに、地域の特性が埋もれてしまわないよう、事業展開に二面性を持たせ、全市民を対象とした「全市民展開事業」と、各区の特性を生かし、地域住民のみを対象とした「地域展開型事業」により公民館事業を推進しています。

3. 地区館事業と分館事業

(1)地区館事業

- ①教養交流講座（歴史、高齢者大学等）
- ②生涯学習講座（パソコン、ピアノ等）
- ③指導者育成講座（ボランティア育成）

(2)分館事業

- ①地域づくり講座（地域全住民対象）
- ②ふれあい・たいけん・公民館（小学生対象）
- ③家庭教育講座（幼児とその保護者対象）
- ④高齢者講座（地域の高齢者対象）
- ⑤地域老人趣味の家（地域の高齢者対象）
- ⑥共催事業（地域団体との共同開催事業）

4. 公民館におけるボランティア育成支援

本市では、市民の個々の能力を引き出し、新た

実践記録 101 シリーズ



カヌー体験

自然の中で磨く心と体「小さな冒険学校」

新潟市大畑少年センター 所長 小林 剛

1 はじめに

大畑少年センターは、平成元年統合のために閉校になった小学校校舎を改装し、子どもの遊びと研修の施設として造られました。新潟市の中心部に位置し、都市型集団宿泊施設としての機能をもっています。特に夏休みには、子ども会や少年団体の宿泊を通した活動であふれています。

今回は、「何事にも挑戦しよう」をテーマに掲げた「小さな冒険学校」を紹介します。

2 事業の実践から

対象は、小学校5、6年生20人です。野外で遊びの経験の少ない子どもたちに、春、夏、冬と時季に応じたプログラムを提供しています。いずれも1泊2日です。

第1回 テント泊や野外料理づくりに挑戦しよう

センターの中庭でのテント設営です。初めて設営する子どもがほとんどで随分時間をかけていました。指導スタッフは、設営の仕方を説明するだけで手を出さないようにしています。やっと設営した子どもたちは、早速テントの中に入りがやがや楽しそうに会話しています。設営を通した仲間づくりです。夜はテントの中から顔を出しビルの谷間の星空を見上げていました。

翌朝、海へ出での小アジつりです。何匹ものアジがかかってくるたびに歓声が聞こえてきました。



野外炊飯

第2回 自然の家でカヌーや野外料理づくりに挑戦しよう

今回の挑戦はカヌーです。初めてカヌー体験した子どもは、次のような感想を述べています。「転んで水の中に沈みそうで恐ろしかった。」「最初、揺れたり、ぐるぐる回ったりしてまっすぐ進めなかった。」「パドルの操作がうまくいか不安だったが、意外とうまくいってうれしかった。」と、子どもたちは、未知の体験への不安、水面で操作する困難さ乗り越え、カヌーを漕ぐことができた達成感を味わっていました。

第2回 小さな冒険学校の日程

自然の家でカヌーや野外料理づくりに挑戦しよう

- 期日 平成17年9月17日(土)～18日(日)
- 会場 新潟県立少年自然の家(中条町)
- 対象 野外活動に興味ある5、6年生 15人
- 主なプログラム

9月17日(土)	9月18日(日)
8:00 新潟駅集合	6:00 起床
JRとバスで自然の家へ	6:50 朝のつどい
10:30 開講式 テント泊準備	7:00 ホットドックづくり
12:00 昼食(持参した弁当)	8:30 クラフトかオリエンテーリング
13:00 カヌー体験	11:00 後始末
16:00 野外炊飯 夕食づくり	11:30 昼食(食堂)
16:50 タベのつどい	12:00 閉講式
18:00 夕食	バスとJRで新潟駅まで
19:30 交歓・交流会	新潟駅で11:40解散
21:30 テント泊	

- 参加費 4,000円
(3食材及びクラフト材料費、保険料、切手代等)
他に新潟駅から中条駅までの交通費が必要
- 指導者 自然の家職員、野外活動インストラクター
大畑少年センター所員

第3回 胎内の自然の中で滑って転んでスキーに挑戦しよう

活動終了後のアンケート結果です。子どもたちは「とても楽しかった93%」「まあまあ楽しかった7%」特に楽しかった理由として、「スキーの初歩的なことから教えてもらった86%」「スキー技術が上達した79%」「多くの人と交流でき友だちもでき嬉しかった93%」「みんなと楽しく滑れたからよかった97%」など、スキーの楽しさや仲間づくりに大きな成果を上げています。

3 今後の方向

最近の子どもは遊びを知らない、外での遊びがないなどによく耳にします。実際の調査からも、「ザリガニ取りをしたことがない、ナイフで枝を切ったことがない、川で泳いだことがない」と、自然の中での体験活動が極端に少ない調査結果がでています。また、自然体験が豊富な子どもほど、道徳観や正義感が充実しているともいわれます。

これからも、意図的、計画的に自然にふれる機会や場を提供することが重要です。当センターでは、子どもの奥底に内在している冒険心や挑戦する心をはぐくむ事業を開発し、心豊かでたくましい子どもの育成を図っていきたく考えています。

どの本読もうかな

おはなしコロコロもりのなか

平成十五年春、公民館で読
み聞かせボランティア講座が
行われました。その時一緒に
受講した仲間が意気統合し、
同年六月にサークルを立ち上
げました。

現在、ひまわりクラブや小
学校の読書週間、そして、公
民館主催の「えほんのじかん」
で読み聞かせボランティアを
しています。また、これらの
活動を支えていくために週一
回定例会を持ち、計画を立て
たり、絵本についての学習や
読み聞かせの練習をしたりし



て楽しんでいきます。

選書やプログラムの組み
方などで悩むことも多いの
ですが、「読み聞かせを通し
て、聞き手と豊かな時間を
共有できる喜びを大切に活
動していこうね」と話し
合っています。

新潟市(亀田)

おはなしコロコロもりのなか

真壁智代美 記



美しいハーモニーを求めて

コーラス聖籠の杜

私達は、平成元年町民会館
新設と同時に誕生した、会館
と同年のサークルです。「今
晩わ！」と、毎週水曜の夜、
仕事・家事を早々に終えての
練習ですが、先生方の熱い御



指導の元、美しいハーモニー
を求めて、がんばっています。

先日は夢にまで見た、おか
あさんコーラス関東大会へ
行ってきました。県外での発
表は初めてで、とても緊張し
ましたが、団員皆、楽しんで
歌うことができたなと思いま
す。新発田市の合唱のつどい、
九月のポニージャックスとの
コンサート、二月には近隣の
合唱団と続けている「ウイズ
コーラス」と、次々と発表会
に挑戦して、少し忙しいです
が、終えた時の喜びが病みつ
きになっているようです。

聖籠町

コーラス聖籠の杜代表

伊藤 敏子 記

妙高市公民館期待の星、いつも笑顔が素
敵な岡田陽子さんを紹介します。

担当は、「成人式」や「男女平等参画の推進」
「図書館管理業務」などです。特に「成人式」
では年齢の近い実行委員とともに、いろい
ろなアイデアを出し合って、式の成功に向け
て熱心に取り組んでいます。

また、市全体で取り組ん
でいる心を豊かにする運動

妙高市公民館

主事 岡田 陽子さん



「妙高市民の心推進事業」では、公民館の入り
口に花を植えることを提案し、現在では、た
くさんのきれいな花々で、来館者を迎えてい
ます。今後も、新しい発想でいろいろな提案
をして、元気で明るい公民館にしてくれるこ
とを期待しています。

(妙高市公民館 馬場慎太郎 記)

阿賀町公民館に欠かすことのできないファン
タジスタがいます。そうなんです！それが
町公民館上川分館の伊藤隆君なんです！！

伊藤君は当分館2年目、お笑い芸人「劇団
ひとり」似の25歳。高校時代運動会時には応
援団長を任されたこともある彼は、たくさ
んの「引き出し(アイデア)」の持ち主で講座の企画、運
営は元より参加者への適切な
アドバイスや相談役、子

阿賀町公民館 上川分館

主事 伊藤 隆さん



ども達を対象にした体験活動事業(当町では
各分館事業の他に分館連携事業も展開)では、
全体の士気を一発で高揚させるテクニックも
兼ね備え、阿賀町民老若男女問わず、当町公
民館全職員からも「若き皇帝」として、絶大
なる人望を集めています。今後も彼のファン
タジーに大注目！です。

(阿賀町公民館 上川分館 主事 長谷川康之 記)

素顔
顔
拝見

新潟大学教育人間科学部
習機会ネットワーク課程に
おける「社会教育主事インテ
ンシップ」は、平成12年度に
始まり、17年度では6回目に
なったそうですが、それまで
は30〜40名の参加があったの
に、17年度は11名の少数参加
で、必ずしも精鋭ではなかつ
たようです。

内容は、Ⅰはじめに Ⅱ実
習機関決定までの経過と書
類、Ⅲ実習機関の決定と資料
の配布 Ⅳ実習指導 Ⅴ単位

認定 Ⅵ実習前課題および実
習報告 (A)新潟市公民館(夏
期Ⅰ) 事前課題：公民館ボラ
ンティアの分析 (B)新潟市公
民館(夏期Ⅱ) (C)新潟市公
民館(通年事業Ⅰ) (D)新潟



市公民館(通年事業Ⅱ) (E)
新潟市図書館 事前課題：図
書館の比較考察 (F)関川村教
育委員会生涯学習課 事前課
題：町村勢比較、等から構成
されております。

学生たちが、夏期キャンプ、
子どもの居場所づくり等の事
業をとおして、対象の子ども
たち共々成長していく姿が巨
聞見られます。

残念なのは、教授陣の総
評、現場機関長の評価がどこ
かにほしいことです。

恵贈資料紹介

「平成17年度社会教育主事インターンシップ報告書」

新潟大学教育人間科学部 学習社会ネットワーク課程

Net work

ネットワーク

平成18年度 下越地区公民館関係役員等研修会案内
**新しい時代に対応する公民館のあり方
～時代の要請に応える公民館～**

- 趣旨 (省略)
- 主催 下越地区公民館連絡協議会
- 共催 新潟県教育委員会・新潟県公民館連合会・新潟市教育委員会
- 主管 新潟市公民館
- 期日 平成18年9月29日(金)
- 会場 新潟市生涯学習センター(クロスバルにいがた)新潟グランドホテル
- 対象 公民館職員、公民館運営審議会委員、社会教育・生涯学習関係者
- 日程

9:00-9:30	12:00-13:00	14:30-15:00	16:30	17:15	18:45
受付	分科会	昼食	分科会	移動	講演会
				全体会 (入場・観覧・退席)	情報交換会

← クロスバルにいがた → → グランドホテル →

- 分科会
第1分科会 市町村合併後の公民館運営審議会のあり方(五泉)
～地域に根ざし自ら取り組む運営委員～
第2分科会 時代の変化に対応した子育て支援(佐渡)
～公民館での家庭教育のあり方について～
第3分科会 地域を結ぶパートナーシップの構築(三市・北蒲)
～公民館・学校と繋がりながら～
第4分科会 これからの公民館職員に求められるもの(村上・岩船)
～地域から求められる公民館職員像～
第5分科会 公民館初任者研修(新潟)
～「あなた読んでいませんか」～
中分科会講評 下越教育事務所社会教育課長 佐藤 強平 様
- 記念講演会 演題 「新しい時代の社会教育」
講師 文科省社会教育課長 三浦 春政 様
- 参加経費 ① 会議資料代 2,000円
② 情報交換会費 6,000円
③ 昼食代(弁当・お茶付き) 800円
※9月8日(金)以降の取り消しについては、参加経費は負担していただきます。
- 申し込み等 8月18日(金)までに、別紙参加申込書により、各市町村分を取りまとめ、新潟市中央公民館へFAX (025-223-1572) で申込みをお願いします。
- 会場案内 (省略)
- 事務局 〒951-8055 新潟市東町通3ノ町2086
新潟市中央公民館 TEL: 025-224-3088 FAX: 025-223-4572
メール crosspal@city.niigata.lg.jp
担当 玉木・高島・中山

あ と が き

第57回県公民館大会も、盛会裡に無事終了させていただきました。

ここに、金箱貞夫実行委員長さんはじめ、小千谷市、魚沼市、川口町、中公連の実行委員の皆々様の尽力に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(鈴木 記)

event information

広がる 子どもの居場所

「始末子ども教室」のすすめ



これは誰かの「居場所」

文部科学省児童局 子どもの居場所づくり推進課

「子どもの居場所づくり」リンク情報マークについて

子どもの居場所づくり推進課は、より多くの子供の居場所づくりを促進することを目指すことを目的として、全国の児童館や児童館協議会等に「子どもの居場所づくり」リンク情報マークの設置を奨励しています。

子どもたちが安心して居場所づくりを行い、学び・遊び・交流できる居場所づくりを進めたいと考えています。

ホームページアドレス
<http://www.ibasyo.com>

「子どもの居場所づくり」ホームページ

近頃、児童館の数は減少傾向にあります。児童館の役割を十分に果たすことが必要です。ホームページを設けることで、児童館の役割や活動を広く知らせることができ、地域住民の理解や協力を得ることが期待できます。

ホームページアドレス
<http://www.ibasyo.com>

安全対策について

児童館では、児童の安全確保が最も重要な役割の一つです。児童館の安全対策については、国のガイドラインや、自治体の指針に基づいて実施する必要があります。

児童館の安全対策については、児童館協議会や児童館協会などに相談することがおすすめです。